



# はーとふる エッセイ

富山市長 藤井裕久

## No.21 「スペインにて」

スペイン王国の国技としては闘牛が有名であるが、国民的スポーツと言えども何と言ってもサッカーである。滞在中はワールドカップグループステージの真只中であり、情熱の国スペインはサッカー一色で大いに盛り上がっていた。

コロナ禍の影響を受け、昨年11月の海外視察は、県議時代に教育・環境政策などの先進地視察で訪れたデンマーク以来3年ぶりであった。あらゆる政策分野で国内外の先進的な取り組みを実際に見て現地の方々と意見交換することからの学びは非常に多く、まさに「百聞は一見に如かず」の感である。今視察も富山市が目指す「コンパクト&スマートシティ」をはじめインバウンド(訪日外国人)観光などの観点からも大きな収穫となった。

富山市は、一昨年9月に国土交通省都市局と欧州委員会地域・都市政策総局による「欧州連合国際都市地域間協力プロジェクト事業」に選定された。これをうけて、本市はスペイン王国のサン・セバステアン市およびルーゴ市とペアを組み、都市の諸課題の解決に向けて連携協力により、新しい知識の獲得や交流による国際間連携の構築・強化、相互訪問による情報や知見の獲得を目指すこととしている。

サン・セバステアン市は、バスク自治州の風光明媚なリゾート都市であるが、新鮮な食材に加えミシュランの星を持つレストランが多いことや、カジュアル

に美味しい料理とお酒を楽しめる「バル」が街の至る所にあり「美食の街」としても有名である。同市では、ICT(情報通信技術)を活用した交通データ管理システムやEV(電動)公共都市バス、レベル5の自動運転システム(完全自動運転)、木質バイオマスの活用事例などについて視察したほか、エネコ・ゴイヤ市長を表敬訪問し「都市間連携に関する協力確認書」を取り交わした。市長とは話が弾み、公共交通の重要性について子どもたちに理解してもらうことが必要との認識で一致し、両国の子どもたちが交通環境を学習する「のりもの語り教育国際会議」を開催することで合意した。

バルセロナ市では、バルセロナ交通局でICTを活用した交通データ管理システムについて意見交換し、併せてウォカブルなまちづくり(居心地が良く歩きたくなるまち)について現地視察した。

マドリード市では在スペイン日本国大使館の北村洋二参事官を表敬訪問し、スペインの現状や日本の地方都市との今後の関係について意見交換したほか、日本政府観光局マドリード事務所長や民間旅行会社の方々ともコロナ後のインバウンド客の地方誘致について意見交換し、新たな関係を築くことができた。

盛りだくさんの視察ではあったが、今視察中にFCバルセロナの下部組織に所属し、将来プロサッカー選手を目指す富山市に縁のある日本人少年に出会うことができた。憧れの選手はクリスティアーノ・ロナウド。遠く異国の地で、直向きに世界のひのき舞台を夢見る少年の目は輝いていた。また一つ、元気と勇気をいただいた。少年との出会いに感謝したい。



サン・セバステアン市の  
ゴイヤ市長と意見交換



ウォカブルな街  
バルセロナ市内

## 今月の 広報クイズ

〇〇〇〇シティ政策の指針となる「富山市〇〇〇〇シティ推進ビジョン」を策定しました。

〇に入る文字は？ 答「〇〇〇〇」

はがきかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。  
広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。

締め切り▶2月14日(火)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp  
賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)  
当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え 2030年 前月の応募総数 297件(正解数293件)



## とやま情報局

今月の  
放送日 2月26日(日)11:45~

放送局 KNB北日本放送(1ch)

テーマ「富山のガラス 豊かさとおしさ」

初心者でも楽しめる富山ガラス工房の制作体験や、日々の暮らしに豊かさを与えてくれるガラス作品、富山ガラス造形研究所を卒業予定の若者などを紹介します。



富山市の人口・世帯数(対前月比)【令和4年12月31日現在】人口…409,075人(-355人) 世帯…184,036世帯(-98世帯)